



第1回

江別市学校給食の在り方検討委員会

目次

- 本委員会の設置目的 - - - 2
- 学校給食とは - - - 6
- 江別市学校給食の現状 - - - 12
- 江別市学校給食に係るその他情報 - - - 35
- 現状を踏まえた検討課題 - - - 41
- 今後のスケジュール - - - 49

「江別市学校給食の在り方検討委員会」 の設置目的

(設置)

第1条 本市の学校給食について、これからも安心で
安全なおいしい給食を安定的に提供し続けるために、
江別市立小中学校における学校給食の今後の在り方を検討
することを目的に、江別市学校給食の在り方検討委員会
(以下「検討委員会」という。)を設置する。

2. 学校給食を取り巻く環境

令和6年6月5日
江別市学校給食の在り方検討委員会資料

異物混入

アレルギー

地産地消

無償化

調理員不足

施設老朽化

災害時炊き出し

人材不足

スクールランチ

衛生管理

少子化

食中毒

栄養摂取

食品ロス

物価・人件費高騰

運営委託

食育



安心・安全・安定

安心

給食に地産地消の旬の食材を使い、地元地域の食、食文化を土台にした上で、適切な栄養の摂取による健康の維持増進を図る。

安全

より高い衛生管理基準に沿った調理により、食の安全を第一とした学校給食を提供する。また、各種感染症や異物混入など、食の安全性を脅かす状況に対応できる体制づくりを行う。

安定

人手不足が深刻化するなど、様々な課題がある中でも、児童生徒数の状況に応じて、安定して学校給食の提供する。

学校給食とは

1. 学校給食の歴史

令和6年6月5日
江別市学校給食の在り方検討委員会資料

年表	
明治22年	現在の山形県鶴岡市の市立忠愛小学校で貧困児童を対象に、おにぎり・焼き魚・漬物の昼食を無償で提供したのが始まり
大正12年	児童の栄養改善のための方法としての学校給食が奨励される（文部次官通牒）
昭和29年	「学校給食法」が成立 【江別市】市制が施行 <江別町→江別市>
昭和33年	学校給食に牛乳が供給される。脱脂粉乳は徐々に牛乳に置き換わる。
昭和37年	【江別市】学校給食のはじまり（パン、牛乳、おかず（完全給食））自校方式 <麺開始→昭和44年、米飯開始→昭和54年>
昭和38年	脱脂粉乳に対する国庫補助が実現し、ミルク給食の全面実施が推進される
昭和44年	【江別市】共同調理場方式（中央町に建設）で市内全校の学校給食が始まる
昭和49年	【江別市】対雁調理場で給食の供給開始
昭和51年	学校給食制度上に米飯が正式に導入される
平成9年	「学校給食衛生管理の基準」が定められる
平成13年	【江別市】元野幌センター調理場で給食の供給開始
平成17年	栄養教諭制度がスタートする 「食育基本法」が制定される
平成19年	「食に関する指導の手引」が作成される
平成27年	文部科学省より「学校給食における食物アレルギー対応指針」が発行される

学校給食法（昭和29年）＜施行70年＞

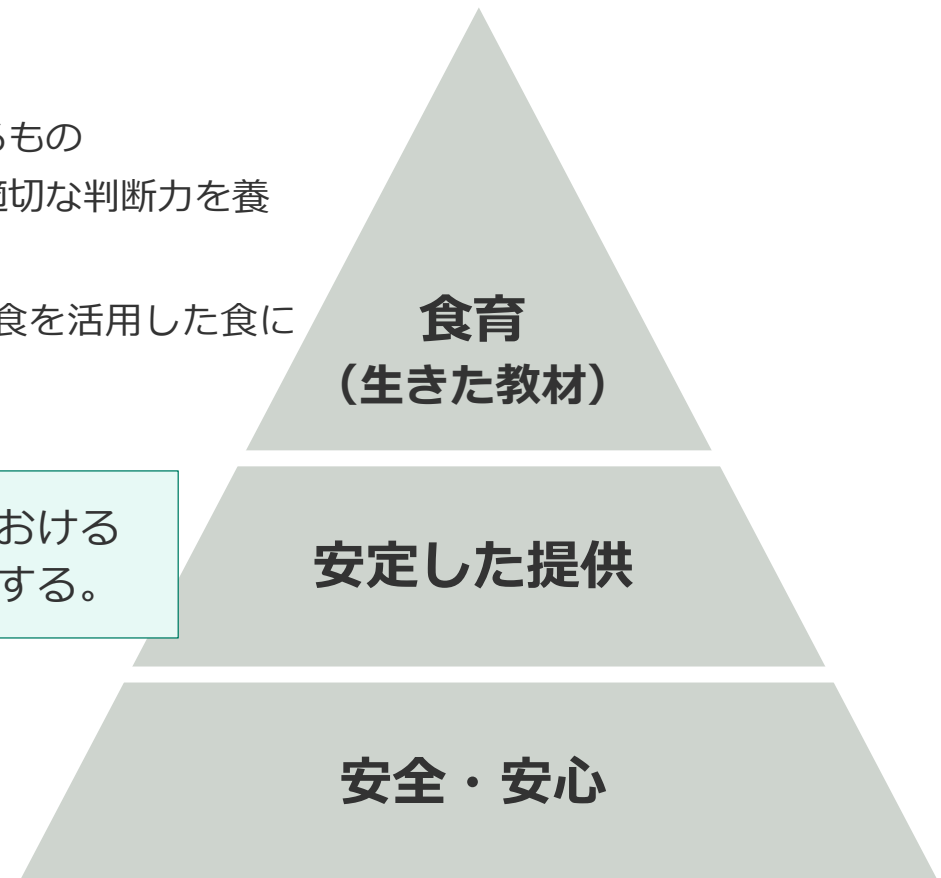
法律の目的

学校給食が、

- ・ 児童及び生徒の心身の健全な発達に資するもの
- ・ 児童及び生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たすもの

であることにかんがみ、学校給食及び学校給食を活用した食に関する指導の実施に関し必要な事項を定める。

▶ **学校給食の普及充実及び学校における食育の推進**を図ることを目的とする。



学校給食の目標（学校給食法第2条）

健康の保持増進や食事に対する正しい理解など7つの目標が定められている。

学校給食の実施主体（学校給食法第4条）

学校給食は、義務教育諸学校の設置者が実施するように努めなければならない。

学校給食の栄養管理（学校給食法第8条）

学校給食実施基準に示されている「学校給食摂取基準」に沿った実施に努める。

学校給食の衛生管理（学校給食法第9条）

学校給食衛生管理基準に照らして適切な衛生管理に努める。

経費負担の原則（学校給食法第11条）

学校給食の実施に必要な施設及び設備に要する経費並びに学校給食の運営に要する経費のうち、施設設備費及び人件費等の管理的経費は、義務教育諸学校の設置者の負担とする。

上記に規定する経費以外の学校給食に要する経費（主として食材料費）は、学校給食を受ける児童生徒の保護者の負担とする。

4. 道内公立小中学校の学校給食実施状況

令和6年6月5日
江別市学校給食の在り方検討委員会資料

ア 公立小学校における学校給食の実施状況

(比率：％)

区分			全道総数	完全給食		補食給食		ミルク給食		計		未実施	
				実施数	比率	実施数	比率	実施数	比率	実施数	比率	未実施数	比率
小学校	学校数	R5	961校	946	98.4	2	0.2	8	0.8	956	99.5	5	0.5
		R4	972校	952	97.9	7	0.7	8	0.8	967	99.5	5	0.5
	児童数	R5	221,725人	221,153	99.7	110	0.1	450	0.2	221,713	99.9	12	0.1
		R4	227,256人	226,301	99.6	479	0.2	463	0.2	227,243	99.9	13	0.1

イ 公立中学校における学校給食の実施状況

(比率：％)

区分			全道総数	完全給食		補食給食		ミルク給食		計		未実施	
				実施数	比率	実施数	比率	実施数	比率	実施数	比率	未実施数	比率
中学校	学校数	R5	569校	556	97.7	1	0.2	6	1.1	563	98.9	6	1.1
		R4	574校	558	97.2	4	0.7	6	1.0	568	99.0	6	1.0
	生徒数	R5	117,054人	116,646	99.7	53	0.1	206	0.2	116,905	99.9	149	0.1
		R4	118,095人	117,503	99.5	264	0.2	221	0.2	117,988	99.9	107	0.1

※「北海道の学校給食（令和5年度）」より
【北海道教育庁学校教育局健康・体育課】

■ 完全給食

パン又は米飯（これらに準ずる食品を含む。）、ミルク及びおかずである給食

■ 補食給食

完全給食以外の給食で、給食内容がミルク及びおかず等である給食

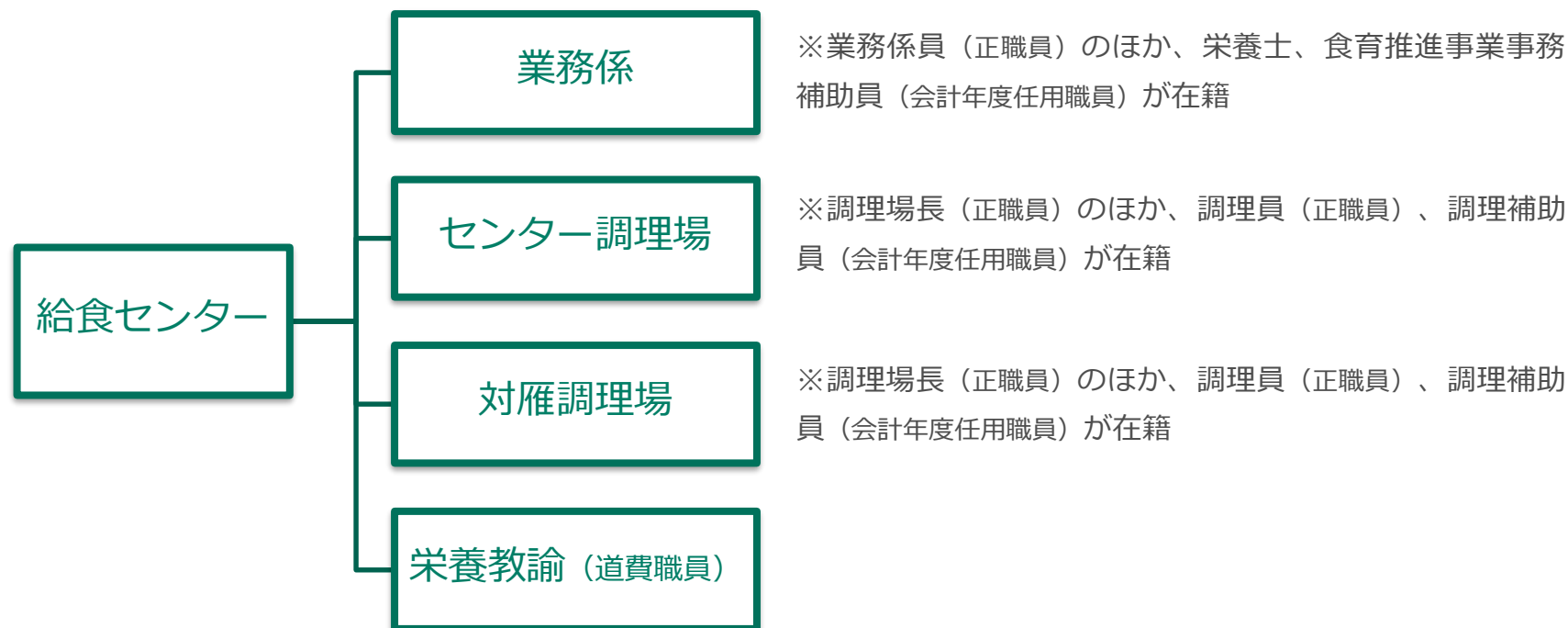
■ ミルク給食

ミルクのみである給食

江別市学校給食の現状

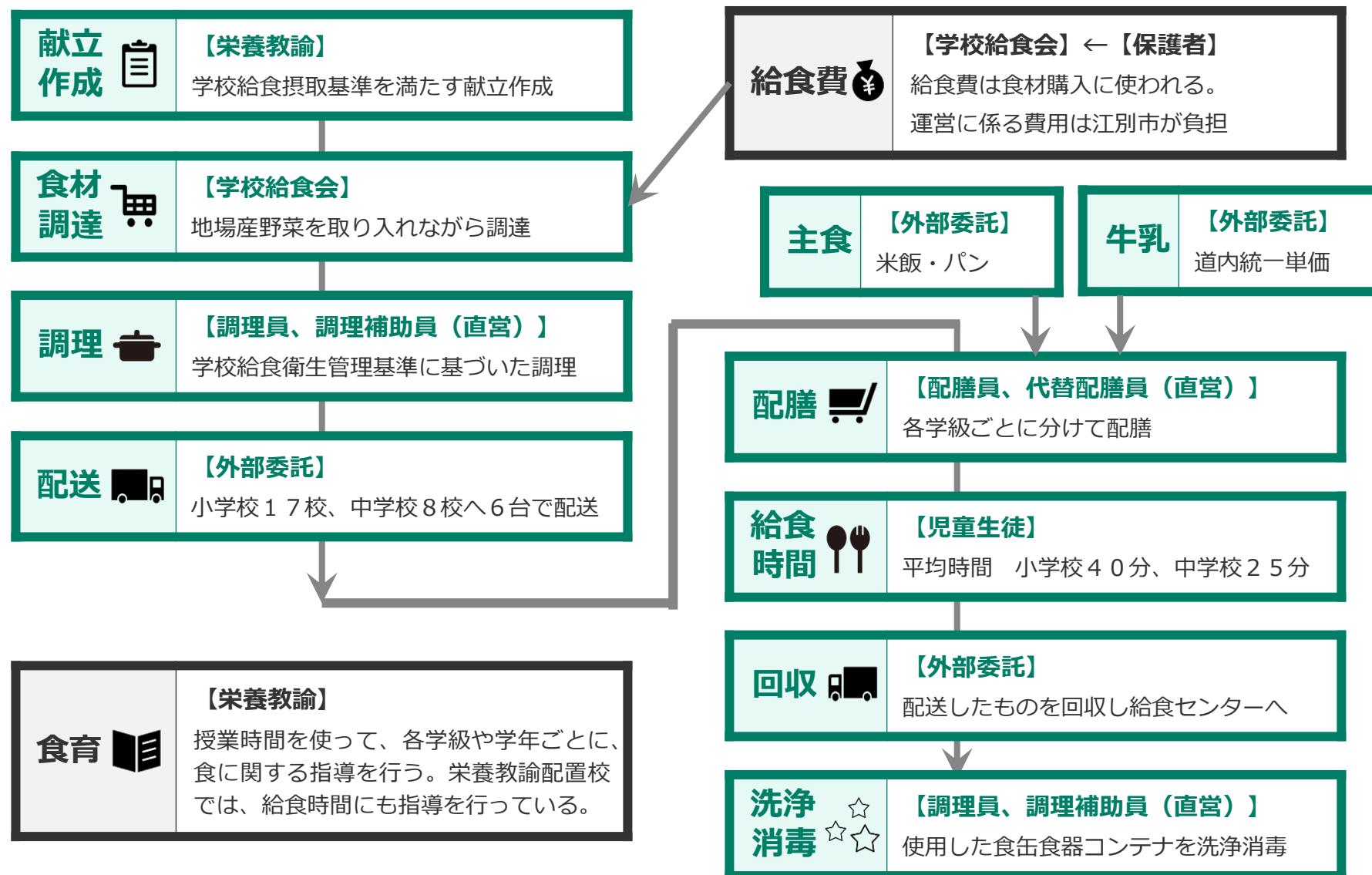
1. 組織図

令和6年6月5日
江別市学校給食の在り方検討委員会資料



2. 江別市学校給食の流れ

令和6年6月5日
江別市学校給食の在り方検討委員会資料



■ 栄養教諭制度創設

平成17年4月1日

■ 栄養教諭の配置基準

小学校及び中学校の県費負担教職員定数配置基準

給食実施規模	単独調理場		共同調理場		
	給食実施児童生徒数		給食実施児童生徒数		
	1,000人以上の市町村	999人以下の市町村	1,800人以下	1,801人以上6,000人以下	6,001人以上
配置数	総数を1,000で除した数	1※	1	2	3

※ただし、共同調理場を有する市町村を除く。

道費（北海道職員）による栄養教諭が配置されている。

センター調理場	対雁調理場	江別市全体
3人	2人	5人

献立の決め方

- ・ 学校給食摂取基準量を満たす
- ・ 施設設備や調理能力に配慮する
- ・ 行事食、旬、地場産等を考慮する
- ・ 給食費の予算の範囲におさめる
- ・ 食品の衛生や安全性に留意する
- など

児童・生徒1人1回当たりの学校給食摂取基準

区 分	小学生			中学生
	1・2年	3・4年	5・6年	
エネルギー (Kcal)	530	650	780	830
たんぱく質 (g)	学校給食による摂取エネルギー全体の13～20%			
脂 質 (%)	学校給食による摂取エネルギー全体の20～30%			
カルシウム (mg)	290	350	360	450
マグネシウム (mg)	40	50	70	120
鉄 (mg)	2	3	3.5	4.5
ビタミンA (μgRE)	160	200	240	300
ビタミンB1 (mg)	0.3	0.4	0.5	0.5
ビタミンB2 (mg)	0.4	0.4	0.5	0.6
ビタミンC (mg)	20	25	30	35
ナトリウム (食塩相当量) (g)	1.5未満	2未満	2未満	2.5未満
食物繊維 (g)	4以上	4.5以上	5以上	7以上

エネルギー

1日の必要量の1/3

カルシウム

必要量の50%

脂質

給食のエネルギーの
20～30%

タンパク質

給食のエネルギーの
13～20%

令和6年度給食費

学区		令和6年度 一食単価	令和2年度	平成26年度	平成22年度
小学校	低学年	317円 (289円)	289円	268円	253円
	中学年	320円 (292円)	292円	271円	256円
	高学年	323円 (295円)	295円	274円	259円
中学校		385円 (351円)	351円	327円	314円

※ () 内が、市からの補助金算入後の実質保護者負担金額

参考

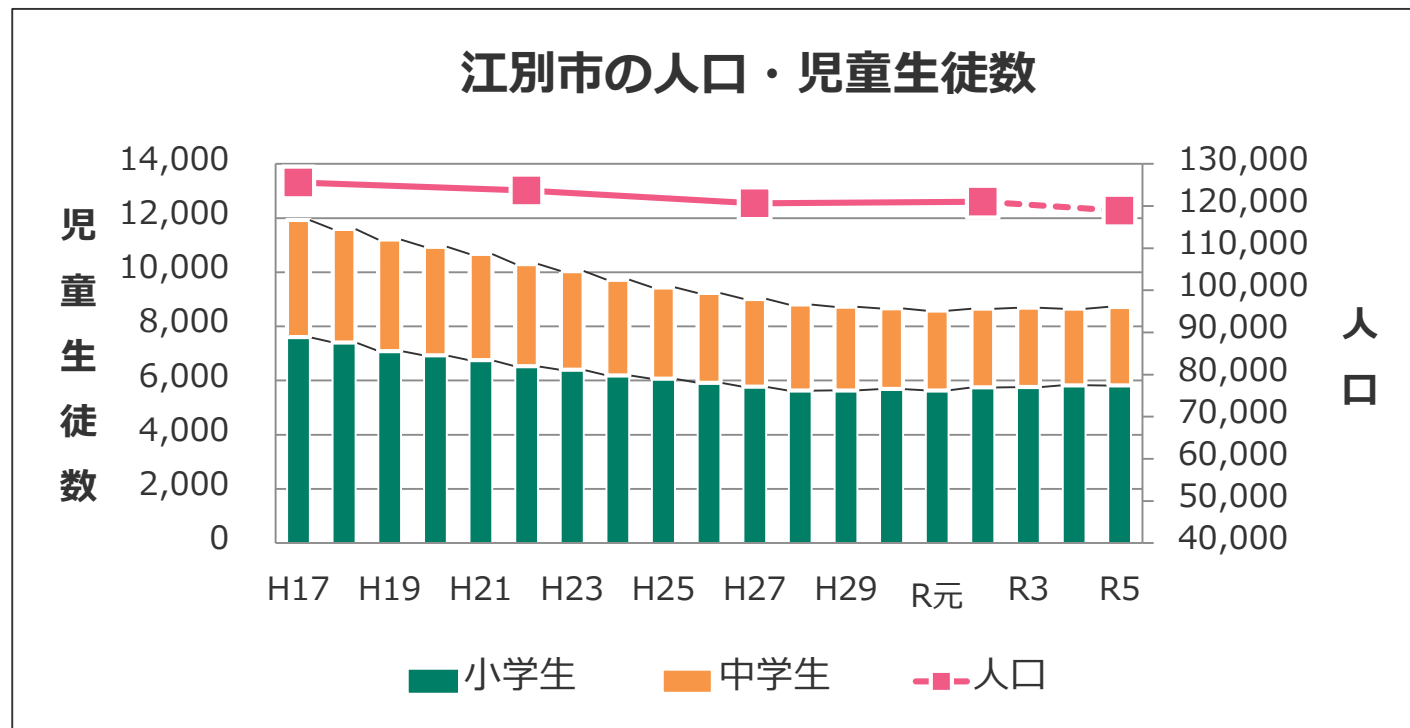
(公立小学校・中学校)																	
区分	市町村数	小学校 (低学年)				小学校 (中学年)				小学校 (高学年)				中学校			
		学校数	平均月額	年間実施 予定回数	一食当たり 平均単価	学校数	平均月額	年間実施 予定回数	一食当たり 平均単価	学校数	平均月額	年間実施 予定回数	一食当たり 平均単価	学校数	平均月額	年間実施 予定回数	一食当たり 平均単価
全道	119	777	4,475	195	253.14	777	4,522	195	255.11	777	4,513	194	256.49	437	5,246	191	306.14

(注) 1 完全給食実施校の状況である。
2 平均月額、年間実施予定回数及び一食当たり平均単価は学校数による加重平均で、平均月額は年間を通じての徴収予定額を11か月で除したものである。
3 地方公共団体による給食費補助等を除いた給食費である。

※「北海道の学校給食（令和5年度）」より【北海道教育庁学校教育局健康・体育課】

6. 児童生徒の推移

令和6年6月5日
江別市学校給食の在り方検討委員会資料



※「第3期江別市学校教育基本計画」より

	R5.5.1	R6.5.1	増減
小学生	5,821人	5,842人	21人増 ↗
中学生	2,898人	2,916人	18人増 ↗



人口全体は減少していくものの、児童生徒数は、今後10年程度は横ばいで推移し、大きく減少はしないものと見込まれる。

食数

長期欠席、弁当持参等の理由から、児童生徒数とは一致しないものの、児童生徒数同様、直ちに大きな減少は生じないものと考えられる。

【小中学校別食数】

(令和6年5月1日現在)

	児童生徒	教職員	計
小学校	5,807食	479食	6,286食
中学校	2,836食	235食	3,071食
			9,357食

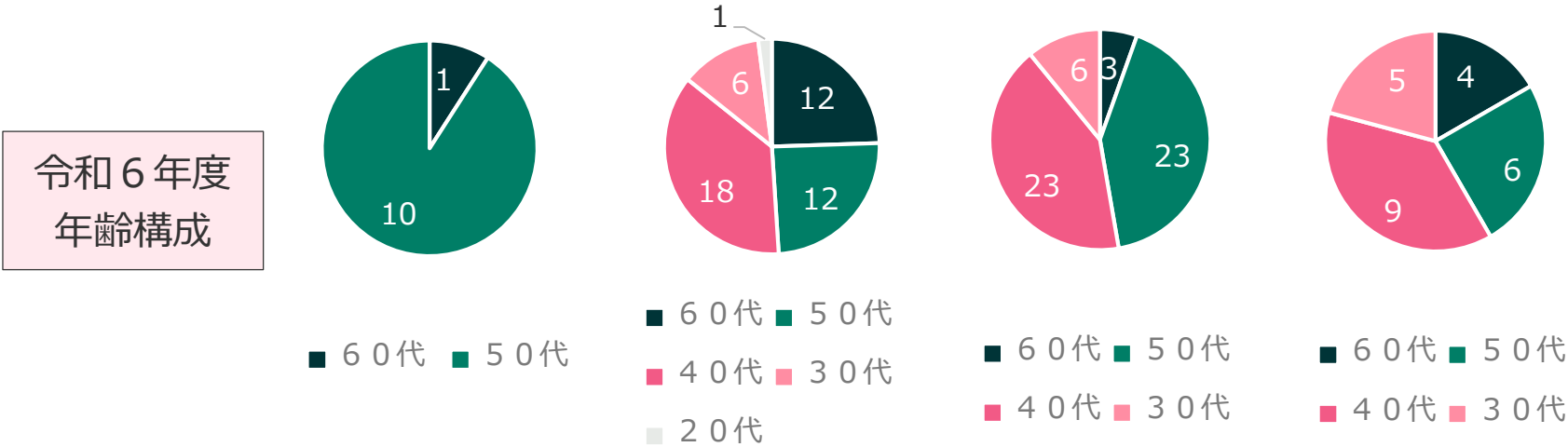
【調理場別食数】

(令和6年5月1日現在)

	児童生徒	教職員	計
センター調理場	6,102食	482食	6,584食
対雁調理場	2,541食	232食	2,773食
			9,357食

調理員・配膳員等の配置推移

	調理員 (正職員)	調理補助員 (会計年度任用職員)	配膳員 (会計年度任用職員)	代替配膳員 (会計年度任用職員)				
平成 元 年	3 6	8 (代替調理員)	5 2	2 1				
平成 2 0 年	2 0	4 9	5 9	2 0				
平成 3 0 年	1 5	4 0	5 5	1 7				
令和 6 年	1 1	4 9	5 5	2 4				
令和 1 1 年	5	※定年延長を踏まえて、定年退職した場合の推計						
令和 1 7 年	0							
		退職 予定	令和 6 年	令和 8 年	令和10年	令和12年	令和15年	令和16年
			1	1	4	2	1	2



9. 調理方式

令和6年6月5日
江別市学校給食の在り方検討委員会資料

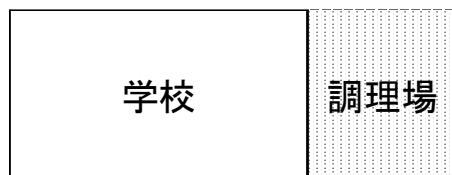
自校方式

メリット

- ・喫食時間に合わせた調理が可能。
- ・温かい給食が提供しやすい。
- ・事故が起きた際に、被害は最小限になる。

デメリット

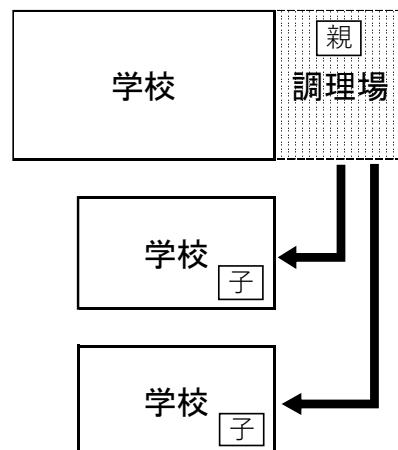
- ・衛生管理、アレルギー対応、異物混入防止等について学校ごとの個別管理の徹底が必要。
- ・学校ごとに建設スペースが必要。
- ・建設費・調理機器等購入費・人件費など一番コストがかかる。



親子方式

メリット・デメリット

自校方式と共同調理場方式の間を取ったような方式



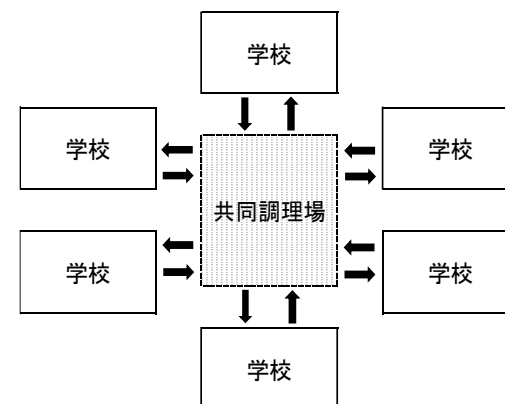
共同調理場方式

メリット

- ・管理の一元化により、衛生管理、アレルギー対応、異物混入防止等を徹底することができる。
- ・集約することで、人件費や維持管理費は抑えられる。

デメリット

- ・複数校を一括管理することから、学校行事等の個々の状況に即した対応には一定の制限がある。



※江別市は、共同調理場方式

10.調理場の現状

令和6年6月5日
江別市学校給食の在り方検討委員会資料



	センター調理場	対雁調理場
所在地	江別市元野幌741番地の2	江別市工栄町9番地の10
敷地面積	9,000㎡	5,672㎡
建物面積	2,151㎡	975㎡
給食開始	平成13年4月 (23年目)	昭和49年11月 (50年目)
供給学校数	小学校 11校 中学校 5校 計 16校	小学校 6校 中学校 3校 計 9校
調理能力	8,000食	6,000食
調理食数	約6,500食	約2,700食



11.道内市共同調理場の現状

令和6年6月5日
江別市学校給食の在り方検討委員会資料

(基準日：令和6年4月)

共同調理場名	建築 年月	築年 数
江別市立学校給食センター	H13.2	23
江別市立学校給食センター 対雁調理場	S49.6	49
千歳市学校給食センター	H5.8	30
恵庭市小学校給食センター	H1.9	34
恵庭市中学校給食センター	H13.3	23
北広島市学校給食センター	S48.12	50
北広島市広葉中学校給食調理場	H12.6	23
北広島市西の里中学校給食調理場	H14.3	22
石狩市学校給食センター	H28.12	7
石狩市厚田学校給食センター	H3.1	33

※札幌市・旭川市・函館市は、自校方式、
親子方式での給食提供を行っている。

※北広島市学校給食センターは、
令和6年度中に建て替え予定。

共同調理場名	建築 年月	築年 数
岩見沢市立学校給食共同調理所	H29.12	6
小樽市学校給食センター	H25.7	10
苫小牧市第1学校給食共同調理場	H23.9	12
苫小牧市第2学校給食共同調理場	R4.1	2
旭川市東旭川学校給食センター	R2.1	4
北見市学校給食センター	H15.1	21
北見市常呂学校給食センター	S55.10	43
北見市留辺蘂学校給食センター	H30.2	6
帯広市第一学校給食センター	H27.4	9
帯広市第二学校給食センター	H27.4	9
釧路市小学校給食センター	S63.2	36
釧路市中学校給食センター	S56.3	43

※「北海道の学校給食（令和5年度）」より
【北海道教育庁学校教育局健康・体育課】

12.江別市対雁調理場の現状

令和6年6月5日
江別市学校給食の在り方検討委員会資料

鉄骨のサビ



躯体の老朽化



コンクリートの剥離



12.江別市対雁調理場の現状

令和6年6月5日
江別市学校給食の在り方検討委員会資料

給水管の老朽化



蒸気配管の老朽化



検収室入口



13. 配送状況

令和6年6月5日
江別市学校給食の在り方検討委員会資料

配送先

センター調理場管轄	小学校11校、中学校5校
対雁調理場管轄	小学校6校、中学校3校

配送車

稼働台数	1台当たり	平均走行距離
市内6台	4校	約70km/日

時間帯	業務	給食センター発時間
午前	配送	10時30分ごろ
午後	回収	13時00分ごろ

配送距離

	最遠学校	距離
センター調理場	野幌小学校	7.3 km
対雁調理場	豊幌小学校	11.6 km

14.調理場位置図・担当校

令和6年6月5日
江別市学校給食の在り方検討委員会資料



15.江別市の献立

令和6年6月5日
江別市学校給食の在り方検討委員会資料

主食

ご飯	パン	麺類
週2.5回	週1.5回	週1回

食器

皿・カップ	箸
強化磁器製	強化ナイロン樹脂製

「食器検討委員会」からの提言を受けて、教育委員会にて、決定している。

献立例

			
・ごはん ・水ギョウザスープ ・野菜の焼きつくね ・豚肉と7" ロッリーの中華炒め 	・黒糖パン ・マカロニのクリーム煮 ・プレーンオムレツ ・[焼きたまご] 焼きたまご ・紫玉葱とセミ"ライソーセージ"のサラダ (イタリアント"レッシング") 	・ミルクパン ・ラビオリスープ ・照り焼きチキ"ハンバーグ" ・ハムのマリネ ・かぼちゃプリン 	・スパゲティミートソース ・フランクフルト ・甘夏ゼリーのフルーツあえ 

■ 実施手法

学校の給食指導担当を交えて年3回開催する「学校給食献立会議」に合わせて実施

【対象者】 小学校3年生、小学校5年生、中学校2年生

令和4年度 学校給食児童生徒アンケート

1. 給食は楽しみですか？

	小学校3年生	構成比	小学校5年生	構成比	中学校2年生	構成比
はい	657	71.88%	595	64.96%	404	48.33%
普通	245	26.81%	291	31.77%	388	46.41%
いいえ	12	1.31%	30	3.28%	44	5.26%

2. 給食の量はどうですか？

	小学校3年生	構成比	小学校5年生	構成比	中学校2年生	構成比
多い	324	35.29%	236	25.71%	191	22.58%
丁度良い	484	52.72%	562	61.22%	562	66.43%
少ない	110	11.98%	120	13.07%	93	10.99%

3. 給食時間(準備から片付けまで)の長さはどうですか？

	小学校3年生	構成比	小学校5年生	構成比	中学校2年生	構成比
長い	95	10.41%	140	15.28%	48	5.68%
丁度良い	632	69.22%	624	68.12%	547	64.73%
短い	186	20.37%	152	16.59%	250	29.59%

体格と肥満度に関する調査の結果

【対象者】

小学校5年生
中学校2年生

※全国の平均値に対する相対的な位置(T得点:全国平均が50.0)と本市との差を、次の通り表記しています。
①2点を超えて高い……上回っている ②1点超～2点……やや上回っている ③+1点以内……ほぼ同程度
④-1点超～-2点……やや下回っている ⑤-2点を超えて低い……下回っている

小学校男子							中学校男子						
全国	北海道	R5江別	T得点	R4江別	T得点		全国	北海道	R5江別	T得点	R4江別	T得点	
身長(cm)	139.61	140.10	140.33	51.1	139.92	50.6	身長(cm)	161.17	162.32	161.84	50.9	162.30	51.7
体重(kg)	35.35	36.75	36.84	51.9	37.57	52.6	体重(kg)	50.22	51.92	51.05	50.8	51.92	51.4
肥満・痩身 傾向児の 出現率(%)	肥満	13.7%	18.9%	17.8%		21.8%	肥満・痩身 傾向児の 出現率(%)	肥満	10.6%	13.3%	11.5%		13.9%
	普通	83.5%	78.3%	80.0%		76.3%		普通	86.2%	83.0%	86.1%		83.4%
	痩身	2.8%	2.7%	2.1%		1.9%		痩身	3.2%	3.7%	2.4%		2.7%
小学校女子							中学校女子						
全国	北海道	R5江別	T得点	R4江別	T得点		全国	北海道	R5江別	T得点	R4江別	T得点	
身長(cm)	141.26	141.93	142.06	51.1	141.61	50.5	身長(cm)	154.94	155.32	155.14	50.4	155.45	51.0
体重(kg)	35.24	36.16	35.58	50.4	35.66	50.4	体重(kg)	46.87	47.15	46.20	49.1	46.29	49.0
肥満・痩身 傾向児の 出現率(%)	肥満	9.8%	12.5%	9.7%		9.0%	肥満・痩身 傾向児の 出現率(%)	肥満	7.0%	7.9%	4.7%		4.7%
	普通	87.4%	84.0%	85.1%		87.7%		普通	88.9%	87.7%	89.8%		89.2%
	痩身	2.9%	3.5%	5.2%		3.4%		痩身	4.0%	4.4%	5.5%		6.1%

江別市の児童生徒は、
身長体重とも、概ね
全国平均を上回って
いることがわかる。

江別市の状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
江別市	43.4%	43.5%	39.8%

※対象野菜：下記以外に、ピーマン、ブロッコリー、カボチャ、ズッキーニ、トウモロコシ、オクラ、レタス等

地産地消の割合（主要野菜使用率）

（令和3年度）

	地元産野菜	道内産野菜	地元産+道内産野菜
江別市	44.06%	27.01%	71.07%
札幌市	9.50%	54.61%	64.11%
千歳市	4.74%	67.12%	71.86%
恵庭市	9.66%	56.47%	66.13%
北広島市	19.34%	46.54%	65.89%
石狩市	16.81%	50.32%	67.13%
当別町	9.40%	58.13%	67.53%
新篠津村	22.14%	54.51%	76.65%
石狩管内平均	11.42%	53.65%	65.07%

※対象野菜：じゃが芋、玉ねぎ、大根、ニンジン、ごぼう、キャベツ、白菜、長ネギ、キュウリ、キノコ類、まめ類

アレルギー対応

食物アレルギーにより、給食に出される食事の一部が食べられない児童生徒のためにパン、卵、カップ納豆の食品に限って代替品および除去食を提供している。

パンの代替品	北海道産小麦粉、酵母、モルト(大麦エキス)、オリーブ油が原料のホワイトロールパン
卵製品・カップ納豆の代替品	蒸しかまぼこ類（卵の代替） のり佃煮・ひじき佃煮など（カップ納豆の代替）
卵料理の除去食	カップのおかずには卵を使用した一部のメニューに限り除去食を提供
資料提供	アレルギー児童生徒の家庭に対しては希望により、給食の食材に関する資料を提供
個別相談	栄養教諭による個別相談

アレルギー対応者数

(令和6年5月9日現在)

対応者数 ※	アレルギー対応※					資料提供 ※
	牛乳停止	卵代替食	卵除去食	納豆代替	パン代替	
443	218	74	74	12	39	251

※学校の教諭含む

教科等の時間における指導

実施手法 各学校に対し希望調査を行い、市に配置されている栄養教諭5名で分担して指導を行う。

実施状況

令和5年度実績	対象	実施	実施率
小学校	221学級	221学級	100%
中学校	95学級	66学級	69.5%

- ・ 小学校は、学級単位で実施。中学校は、一部を除き学年単位で実施
- ・ 各学校の希望に応じて、学級活動・家庭科・学年集会の時間で実施
- ・ 栄養教諭一人当たり35回前後（配属校を除く。）の指導を実施

給食の時間における指導

実施手法 栄養教諭は、配属校において給食の時間における指導を行う。

[給食の時間における食に関する指導]（食に関する指導の手引き（第二次改訂版）から抜粋）

給食の時間における食に関する指導は主として学級担任が行いますが、栄養教諭が各教室に出向いて直接指導したり、資料提供したりすることで、具体的かつ実践的な指導になり、教育効果を上げることができます。

令和6年度予算

給食費会計（保護者等負担）	
＜収入＞	金額（千円）
繰越金	5,803
児童給食費	337,746
生徒給食費	202,540
職員給食費	4,178
父母試食費	639
過年度	4,295
補助金等	52,662
計	607,863

＜支出＞	金額（千円）
主食費	175,596
副食費	331,417
牛乳費	99,473
代替品費	1,377
計	607,863

運営経費（江別市負担）	
＜支出＞	金額（千円）
人件費	241,782
光熱水費・燃料費	75,995
修繕費・工事費	14,429
委託料	108,510
備品購入費	11,304
その他	46,596
計	498,616

支出合計

約11億円

江別市学校給食に係るその他情報

1. 江別市内の学校施設の現状

令和6年6月5日
江別市学校給食の在り方検討委員会資料

○小学校

■ : 築50年以上 ■ : 築30年以上 基準 2019/5/1

建物基本情報							
学校名	建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年		築年数
					西暦	和暦	
江別第一小学校	校舎棟	RC	3	5,731	2016	H28	2
	体育館	S	1	1,064	1990	H2	29
江別第二小学校	東校舎棟	RC	2	1,271	1968	S43	50
	中央校舎棟	RC	2	2,243	1977	S52	41
	西校舎棟	RC	2	2,375	2014	H26	4
	体育館	S	2	1,156	1985	S60	33
豊幌小学校	中央校舎棟	RC	2	1,982	1992	H4	27
	北校舎棟	RC	2	1,346	1997	H9	22
	体育館	S	1	750	1984	S59	34
江別太小学校	校舎	RC	3	5,094	2015	H27	3
	体育館	RC	2	1,200	2015	H27	3
大麻小学校	北校舎棟	RC	2	2,058	1965	S40	53
	南校舎棟	RC	2	1,551	1968	S43	50
	体育館付属棟	RC	1	500	1991	H3	28
	体育館	S	2	1,033	1991	H3	28
対雁小学校	南校舎棟	RC	3	1,210	1972	S47	46
	中央校舎棟	RC	2	853	1987	S62	32
	西校舎棟	RC	2	1,430	1988	S63	31
	北校舎棟	RC	2	2,232	1991	H3	28
野幌小学校	体育館	S	2	1,079	1987	S62	31
	校舎棟	RC	2	1,484	1996	H8	23
	体育館	S	1	825	1996	H8	23
東野幌小学校	北校舎棟	RC	3	2,293	1963	S38	55
	東校舎棟	RC	3	1,449	1979	S54	39
	南校舎棟	RC	3	2,269	1998	H10	21
	体育館	S	2	1,091	1993	H5	25
大麻東小学校	中央校舎棟	RC	3	3,815	1969	S44	49
	西校舎棟	RC	3	1,756	1970	S45	48
	体育館	S	2	993	1969	S44	49
大麻西小学校	東校舎棟	RC	2	2,316	1971	S46	47
	西校舎棟	RC	3	1,126	1975	S50	43
	体育館	S	2	706	1971	S46	47
中央小学校	北校舎棟	RC	3	4,219	1976	S51	42
	南校舎棟	RC	1	553	1976	S51	42
	体育館	S	1	1,006	1976	S51	42
大麻東中学校	東校舎棟	RC	3	2,214	1977	S52	41
	中央管理棟	RC	1	240	1977	S52	41
	西校舎棟	RC	1	666	1977	S52	41
	体育館	S	2	970	1977	S52	41
野幌若葉小学校	中央校舎棟	RC	3	3,366	1984	S59	35
	南校舎棟	RC	3	517	1992	H4	27
	体育館	S	2	981	1983	S58	35

建物基本情報							
学校名	建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年		築年数
					西暦	和暦	
北光小学校	校舎棟	RC	2	1,932	1986	S61	33
	体育館	S	1	749	1985	S60	33
文京台小学校	校舎棟	RC	3	3,578	1987	S62	32
	体育館	S	2	1,092	1986	S61	32
いずみ野小学校	校舎棟	RC	2	4,127	1997	H9	22
	体育館	S	2	1,092	1997	H9	22
上江別小学校	校舎棟	RC	3	5,927	1999	H11	20
	体育館	S	2	1,256	1999	H11	20

○中学校

建物基本情報							
学校名	建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年		築年数
					西暦	和暦	
江別第一中学校	西校舎棟	RC	2	617	2002	H14	16
	校舎棟	RC	3	6,281	2015	H27	3
	体育館	S	2	1,275	1992	H4	27
江別第二中学校	東校舎棟	RC	1	471	1970	S45	49
	北2線校舎棟	RC	3	1,918	1970	S45	49
	南1線校舎棟	RC	2	1,510	1960	S35	58
	体育館	S	2	1,212	1995	H7	24
江別第三中学校	南校舎棟	RC	2	907	1961	S36	57
	中央校舎棟(西)	RC	3	1,262	1972	S47	46
	中央校舎棟(東)	RC	3	1,278	1973	S48	45
	北校舎棟	RC	2	1,069	1989	H元	30
	体育館	S	2	1,219	1994	H6	25
野幌中学校	北校舎棟	RC	3	3,182	1979	S54	39
	東校舎棟	RC	3	2,069	1979	S54	39
	体育館	S	1	1,026	1979	S54	39
大麻中学校	中央校舎棟	RC	2	1,694	1968	S43	50
	西校舎棟	RC	3	1,197	1968	S43	50
	東校舎棟	RC	3	1,022	1970	S45	48
	南校舎棟	RC	2	1,281	1970	S45	48
	体育館	S	2	1,165	1968	S43	50
大麻東中学校	北校舎棟	RC	2	2,049	1979	S54	40
	中央校舎棟	RC	2	1,048	1979	S54	40
	南校舎棟	RC	3	1,993	1979	S54	40
	体育館	S	2	1,072	1979	S54	40
江陽中学校	西校舎棟	RC	3	1,934	1983	S58	36
	東校舎棟	RC	3	1,777	1983	S58	36
	体育館	S	2	1,027	1982	S57	36
中央中学校	校舎棟	RC	3	6,000	1993	H5	26
	体育館	S	2	1,300	1993	H5	26

平均築年数

35年

(2020年当時)

維持更新経費

476億円

(30年間)

※改築と大規模改造による
従来型管理を行った場合

※「江別市学校施設長寿命化計画」より
(2020年試算)

2. 江別市内の社会教育施設の現状

令和6年6月5日
江別市学校給食の在り方検討委員会資料

(基準日：令和6年4月)

施設名	建築年月	築年数
コミュニティセンター・中央公民館	H元	34
野幌公民館	S59	39
大麻公民館	H9	26
青年センター	S47	51
市民体育館	S53	45
東野幌体育館	H15	20
大麻体育館	H10	25
郷土資料館	H2	33
情報図書館	S63	35
セラミックアートセンター	H6	29

※公民館、体育館等を一部抽出

平均築年数

34年



3. 道内市町村運営状況①

令和6年6月5日
江別市学校給食の在り方検討委員会資料

道内市町村における学校給食業務の外部委託状況

(公立小学校・中学校・共同調理場)

区 分		単 独 校 調 理 場				共 同 調 理 場			合 計		
		小 学 校		中 学 校							
		市町村数	学 校 数	市町村数	学 校 数	市町村数	調理場数	学 校 数	市町村数	学 校 数	
総 数		15	220 校	14	112 校	124	176	948 校	137	1,281 校	比率
調 理	派遣	8	125	6	62	57	84	476	71	663	51.8%
	全面	5	5	5	5	1	1	8	11	18	1.4%
	計	13	130	11	67	58	85	484	82	681	53.2%
運 搬	派遣	4	5	4	4	67	71	342	75	351	27.4%
	全面	4	90	4	45	47	90	541	55	676	52.8%
	計	8	95	8	49	114	161	883	130	1,027	80.2%
物資購入 管 理	派遣	6	121	6	62	8	11	76	20	259	20.2%
	全面	4	4	4	4	1	2	35	9	43	3.4%
	計	10	125	10	66	9	13	111	29	302	23.6%
食器洗浄	派遣	8	125	6	62	57	84	475	71	662	51.7%
	全面	3	3	3	3	1	1	8	7	14	1.1%
	計	11	128	9	65	58	85	483	78	676	52.8%
ボイラー 管 理	派遣	1	2	1	2	46	52	400	48	404	31.5%
	全面	3	3	3	3	5	7	36	11	42	3.3%
	計	4	5	4	5	51	59	436	59	446	34.8%
その他の業務	派遣	4	193	3	96	49	57	381	56	670	52.3%
	全面	1	2	1	1	17	19	95	19	98	7.7%
	計	5	195	4	97	66	76	476	75	768	60.0%
(再掲欄) 調理業務、運搬業務 物資購入管理業務	派遣	1	2	1	1	10	14	130	12	133	10.4%
	全面	4	4	4	4	0	0	0	8	8	0.6%
	計	5	6	5	5	10	14	130	20	141	11.0%

(注) 1 完全給食又は補食給食を実施している市町村及び学校における外部委託の状況である。

2 再掲欄は、調理、運搬及び物資購入管理業務の全てを委託している学校等である。

3 「派遣」とは、調理員等の人的要素を外部に委託するものであり、「全面」とは、調理員等の人的要素及び施設等の物的要素を外部に委託するものである。

※「北海道の学校給食（令和5年度）」より【北海道教育庁学校教育局健康・体育課】

運搬業務の委託は80%、調理、食器洗浄は、直営と委託が半々程度となっている。

4. 道内市町村運営状況②

令和6年6月5日
江別市学校給食の在り方検討委員会資料

石狩管内における学校給食業務の外部委託状況

市町村名	調理場名	委託内容						備考
		調理	運搬	物資購入管理	食器洗浄	ボイラー管理	その他	
江別市	江別市立学校給食センター		○			△	△、○	機械警備・清掃等
	江別市立学校給食センター対雁調理場		○			△	△、○	機械警備・清掃等
札幌市	円山小学校 ほか151校	△		△	△		△	配膳
	盤溪小学校 ほか128校		○				△	配膳
恵庭市	恵庭市小学校給食センター	△	○	△	△	△	△	配膳
	恵庭市中学校給食センター	△	○	△	△	△	△	配膳
千歳市	千歳市千歳市学校給食センター	△	○	△	△	△	△	配膳・施設管理
北広島市	北広島市学校給食センター	△	○		△、○	△	△	配膳
	北広島市立広葉中学校給食調理場	△	○		△		△	配膳
	北広島市立西の里中学校給食調理場	△	○		△		△	配膳
石狩市	石狩市学校給食センター	△	○	△	△	△	△	施設設備管理
	石狩市厚田学校給食センター	△	○	△	△	△	△	施設設備管理
当別町	当別町当別町学校給食センター	△	△		△	△		
新篠津村	新篠津村新篠津村学校給食センター	△	△				○	機械設備・電気保安

※△印は派遣方式、○印は全面委託方式である。

※「北海道の学校給食（令和5年度）」より【北海道教育庁学校教育局健康・体育課】



自校方式の札幌市を除けば、運搬業務は全市町村とも委託している。
調理・食器洗浄は、一部を除き、各市町村で委託化されている状況である。

調理師免許交付数の推移

平成20年度には、42,000件あった免許交付数は、令和3年度には、28,000件になり、**2 / 3（33%減）**となっている。

江別市が採用している調理補助員は、必ずしも免許保有を要件としていないが、調理に携わる労働人口が減ってきていることがわかる。

調理師免許交付数の推移

	総数 (累計)	免許 交付数 (単年度)	免許取得資格			
			養成施設 卒業	講習課程 修了	試験合格	附則講習 認定
平成 20年度	3,471,467	41,958	17,386	—	24,571	1
21年度	3,513,989	42,522	16,448	—	26,060	14
22年度	3,555,679	41,690	15,546	—	26,143	1
23年度	3,596,046	40,367	16,613	—	23,754	0
24年度	3,636,253	40,207	16,685	—	23,521	1
25年度	3,674,903	38,650	17,260	—	21,390	0
26年度	3,712,893	37,990	16,507	1	21,482	0
27年度	3,749,828	36,935	15,929	—	21,005	1
28年度	3,785,297	35,469	15,764	—	19,704	1
29年度	3,817,774	32,477	13,789	1	18,686	1
30年度	3,848,386	30,612	13,459	—	17,153	0
令和元年度	3,877,425	29,039	13,125	—	15,914	0
令和2年度	3,905,719	28,294	13,118	—	15,176	0
令和3年度	3,933,842	28,123	12,961	—	15,162	0

（資料：厚生労働省「衛生行政報告例」）

（参考：江別市）

	調理員	調理補助員
令和6年	1 1	4 9
うち調理師 免許保有者	1 1	5

現状を踏まえた検討課題

検討課題

江別市学校給食の在り方の方向性を示すために、課題の中から、特に検討が必要と考えられるものにポイントを絞って、論点を整理する。

・ 人材不足（調理員等不足）

・ 施設老朽化

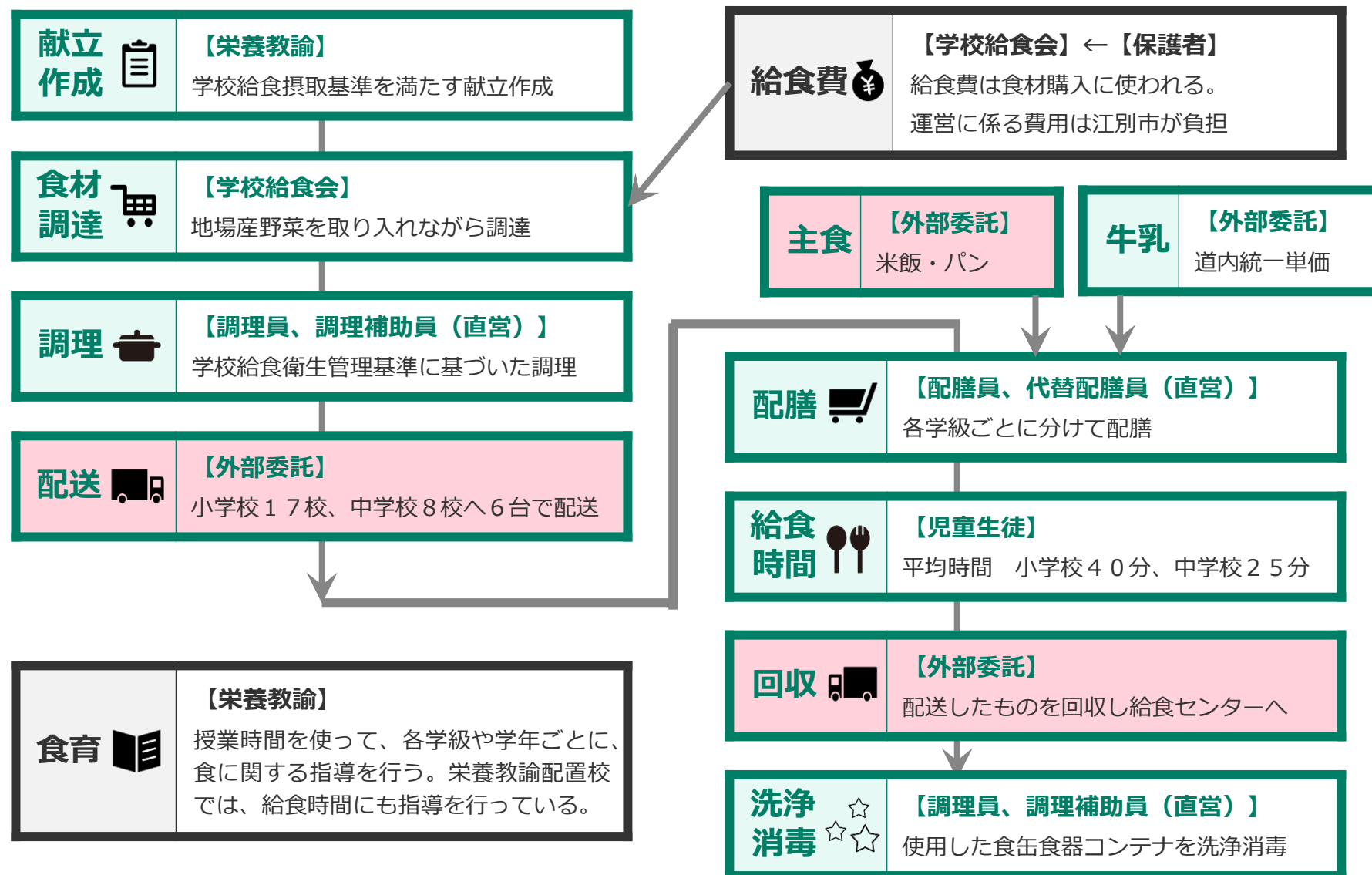
考慮すべき背景

- ・ 少子化（児童生徒数の減）
- ・ 主食調理・配送の今後
- ・ 財政面

江別市学校給食の在り方

2. 江別市学校給食の流れ

令和6年6月5日
江別市学校給食の在り方検討委員会資料



・人材不足（調理員等不足）

論点

安定した給食提供を継続するためには、どのような運営体制が必要か。

視点 🔍

- ・労働人口の減少により、人材の確保が難しくなっていく。
- ・衛生管理基準の改正により、細やかな対応が求められるようになった。
- ・調理等の運営体制だけでなく、建物更新を含めた手法の検討が必要。
- ・あらゆる可能性の中から、ゼロベースで検討していく。

▶ 対雁調理場（3,000食）を提供するための選択肢は何があるか。

・施設老朽化

論点

築50年を迎える対雁調理場を今後どうしていくか。

視点 🔍

- ・ 対雁調理場の単純建て替えで良いのか。
- ・ 20年後にはセンター調理場の建て替え検討も生じる。
- ・ 給食センター以外の教育施設の維持管理・更新状況。
- ・ 建物更新だけでなく、調理等の運営体制を含めた手法の検討が必要。
- ・ あらゆる可能性の中から、ゼロベースで検討していく。

▶ 対雁調理場（3,000食）を提供するための選択肢は何があるか。

検討課題

江別市学校給食の在り方の方向性を示すために、課題の中から、特に検討が必要と考えられるものにポイントを絞って、論点を整理する。

- ・ 人材不足（調理員等不足）
- ・ 施設老朽化

▶ 対雁調理場（3,000食）を提供するための選択肢は何があるか。

▶ 江別市学校給食の在り方

対雁調理場（3,000食）を提供するための選択肢は何があるか。

様々な角度、目線から選択肢を広げていく必要がある。

他市町村の実施状況・民間事業者の意見や事業提案を把握する。

他市町村への聞き取り・視察

サウンディング型市場調査

目的

事業発案段階や事業化検討段階において、事業内容や事業スキーム等に関して、対象事業の検討を進展させるための情報収集を目的とする。
行政目線の発想に偏らずに、検討を進めることができる。

手法

直接の対話等により、民間事業者（施設更新に係る業者、調理設備業者、調理業者等）の意見や新たな事業提案の把握等を行う。

聞き取り案

- ・ 現在3,000食の学校給食を提供している対雁調理場は、築50年目であり、老朽化が進んでいる。
- ・ 現在11名在籍している調理員（正職員）は、定年退職により段階的に減少していくことに加え、今後ますます人材の確保が難しくなっていく。

以上の状況を踏まえ、今後も安全・安心な給食を、安定的に提供するための手法を、民間のノウハウを生かした効果的・効率的な観点から幅広く提案していただきたい。



聞き取り内容をもとに、第2回検討委員会で議論を深めていく。

今後のスケジュール

日程	内容
6月5日	第1回江別市学校給食の在り方検討委員会
第1回終了後	サウンディング型市場調査
8月（予定）	第2回江別市学校給食の在り方検討委員会
※以降も、2か月ごとを目途に委員会を開催予定	